

No.1 「いってきます」



新年度となり1ヶ月が過ぎようとしています。新しく入園されたお子さまも、少しずつ慣れ、笑顔も多くみられるようになりました。とても嬉しく思います。半面、慣れてきたと思えば、体調を崩しやすい時期でもあります。日々の変化に目を向け、ご家庭とコミュニケーションをとりながらお子さまと過ごしていきたいと思ひます。

今年度から、保育や子育てに関する思いを「ちょっとひといき」と題し、お便りを発信することにしました。何か皆様の助けになれば幸いです。どうぞ、よろしくお願ひします。

さて、第一回目ですが、4月ということもあり、登園時について書いてみました。お付き合ひください。

新しい環境というのは、不安になるもの。大人だって転職や職場復帰などで不安になります。0~2歳児の子ども達となると尚のことですね。

この時期に、大切にしたいことは、不安を和らげ、安心してもらうことです。

朝、小さな体を震わせて、大きな声で泣く姿に「大丈夫かな」「泣いているのに、仕事に行っているのかなあ」「困ったな」「心配だけど、仕事遅れちゃうな」など、悩んでしまう事もあるかもしれません。保護者の皆さんも様々不安がありますよね。ただ、そんな時、お母さんやお父さんが不安だと、その気持ちはお子さんに伝わってしまいますので、ここは、ぐっと胸を張って

「いってきます。お迎えにくるからね」と、声をかけ、ぎゅっと抱きしめて「大丈夫、安心してね」という気持ちを伝えてほしいと思ひます。

泣く気持ちに合わせすぎて長居をしてしまうと「泣いたらお母さんは行かないかもしれない」と期待させてしまう可能性があるため、ぎゅっと抱きしめた後は、保育者に託し、サッとお仕事に向かってください。

ただ、例えば「泣かれてしまうと仕事に遅刻してしまう…」という気持ちから、お子さんが玩具などに気を取られている間に、そっと行ってしまったりすることは注意してほしいと思ひます。お子さんは「お母さんやお父さんがいない」と気付いた時、「知らない間に置いていかれた」と、ますます不安が大きくなってしまふ可能性が高いです。ですので、「大丈夫、安心してね」「行ってきます、お迎えにくるからね」と伝えぎゅっと抱きしめてほしいと思ひます。生まれてから、肌を寄せ、目を離さず、優しく声をかけ、誰よりも愛情を注いできたのは、お母さんやお父さんだと思ひます。お子さんにとってお母さんやお父さんから抱きしめられることが、一番安心につながりますね。

是非是非やってみてほしいなと思ひます。